



## くすりのリスク～薬の正しい飲み方・使い方について

病院で処方されたお薬を指示通り正しく飲んでいるでしょうか。  
薬と一緒にもらう薬剤情報提供書などの注意書きに目を通していますか？  
知っておきたい薬の基本的な知識をご紹介します。



## 薬は効き目(効能・効果)だけでなく、副作用というリスクも！

病気やケガの治療などで大切な役割を果たす「薬」ですが、薬は効き目(効能・効果)だけでなく、副作用という「リスク」も併せ持っています。重い症状では死に至ることも。副作用とは本来の目的と別の作用のことで、例えば眠気やのどの渇きといった軽いものから、肝機能障害やアレルギー反応の一種であるアナフィラキシーなどの重い症状まで様々です。

### 薬の正しい使い方とは・・・？



●使う前に説明文書をよく読みましょう。

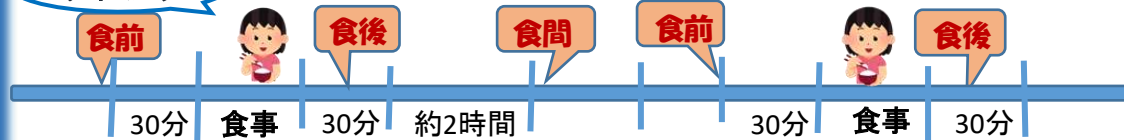
処方薬、市販薬には効能・飲み方の説明書がついています。使用前に必ず目を通す習慣をつけましょう。

●用法・用量、タイミングを正しく守りましょう。

決められた量よりも多く飲めばさらに効くというのではなく、逆に副作用や中毒が現れる危険もあります。飲むタイミングも同様です。特に乳幼児は十分注意する必要があります。

### タイミング！

食前、食後、食間など決められた時間を守りましょう。



**食前:** 食事のおよそ1時間～30分前

**食後:** 食後30分以内

**食間:** 食事の2時間後が目安(食事と食事の間)※食事中の服用ではない。

### どんなふう to 飲むの？



薬はコップ1杯のお水(常温)で飲むのが原則です。水の量が少ないと薬の吸収が遅くなったりして効き目が悪くなることがあります。内服用のゼリーを使う時も、あとで水分を補っておきましょう。ジュースやお茶などで飲むと飲み物に含まれる成分との相互作用で、薬の効果が変わることや副作用を起こす場合がありますので、注意しましょう。

### 飲むのを嫌がったら・・・



嫌がらずに飲んでもらうための工夫として、特別感のあるお気に入りのスプーンやコップを使ったり普段使えないパパやママと同じものを使わせてあげたり・・・

「〇〇(好きなキャラクター)が応援してるよ」という声かけも効果があるかもしれません。

どうしても飲ませるのに苦労する場合は、主治医や薬剤師に相談して薬を変えてもらうのもひとつの方法です。

☆ ご予約・お問い合わせ ☆

いなみ虹保育園・病後児保育室「レインボー」

住所: 兵庫県加古郡稲美町国安1256番地

TEL: 079-490-2064(専用電話)

FAX: 079-490-6682

\* 詳しくは「いなみ虹保育園HP」「稲美町HP」をご覧ください

